

なでしこvision “世界のなでしこになる。” ~ 2009 JFA女子委員会 重点施策

2015年、
女子のプレーヤーを300,000人にする。

1. サッカーを日本女性のメジャースポーツにする。

- ◆ 女子選手を取り巻くサッカー環境を、「Players First!!」の観点で整備する。

【2009 重点施策】

- リーグ戦導入を含め、国内大会の抜本的改革に向けて検討する。
 - なでしこリーグ改革と連動し、地域リーグを9地域に整備する。
 - U-12年代のリーグ戦化、男子の中でも女子チーム・女子選手が参加できるよう働き掛ける。
 - インターハイ開始を念頭に入れ、ユース年代の大会を再検討する。
 - 2010年に大きく改変する可能性を持ちながら、レディース大会を視察し、検討・検証する。
- 中学生年代にトレーニング環境(指導者・場所)の整ったチームを増やす。
 - Jリーグとの連携を取り、Jクラブの女子チーム数を増やす。
 - 「市区町村に1つ、女子チームを！」～モデルケースを構築し、広く発信する。
- 登録状況の多面的な分析から、女子の現状に適した登録のあり方を検証・検討する。
- レディース・ガールズフェスティバルの次のステップを具現化:登録・大会参加を促進する。

- ◆ 近い将来、FIFA 女子ワールドカップを日本で開催する。

【2009 重点施策】

- 男子ワールドカップの開催実現と協調しながら、女子ワールドカップ開催にむけた具体的なアクションを開始する。

- ◆ 女子サッカーの認知度を上げる。

【2009 重点施策】

- プロモーション・メディア戦略を女子委員会の核となる施策、最大重要事項と捉え、取り組む。
積極的かつ地道な発信活動と並行して、テレビの露出を増やしていくための具体策を見出し、アクションに移す。

2015年、
日本をFIFA ランキング トップ5にする。

2. なでしこジャパンを世界のトップクラスにする。

- ◆ U-20/U-17 ワールドカップには必ず出場する。
- ◆ ワールドカップ/オリンピックでベスト4に進出する。

【2009 重点施策】

- 2009 AFC U-19・16 女子選手権でワールドカップ出場権を獲得する。
- 2009 ユニバーシアード大会で、メダル獲得に挑む。
- 2008 世界大会の分析を生かし、なでしこジャパン・ユニバーシアード・U-19・U-16 の連携による強化・育成を図る。
 - 【フィジカルフィットネス】代表チーム・所属チームと課題を共有し、継続的トレーニングに取り組む。
 - 【栄養】指導を徹底し、日常からの改善に取り組む。
 - 【フィジカル・メディカル・メンタル・栄養】各年代代表の取り組みを発信し、育成年代からの一貫指導につなげる。

3. 世界基準の「個」を育成する。

- ◆ 各年代日本代表選手につながる、タレントの発掘・育成システムを整備する。

【2009 重点施策】

- 将来性ある優秀な選手を対象に JOC オリンピック強化指定選手支援制度を活用して「海外留学」を実施する。
- U-15・12年代に重点を置き、トレセン活動の活性化を図る。
男子と連携を取りながら、ナショナル・地域トレセンはもとより都道府県トレセンから継続的に活動できるよう整備する。
- スーパー少女プロジェクトと地域・都道府県との連携を強化し、GK 選手の発掘・育成に幅広く取り組む。
- AFC ガールズフェスティバル・日韓交流プログラムを通じて、U-14・13年代の強化・育成を図る。
また、エリートプログラムの要素を加え、同年代のトレセン活動等にも展開していく。

- ◆ 女子に携わる指導者のレベルアップを図る。

【2009 重点施策】

- 各全国大会で指導者講習会を開催したり、C 級コーチ養成講習会やリフレッシュ研修会に積極的に関わったりなど、テクニカルレポートの内容を広く伝え、vision・課題を共有する。
- 将来的に、女子チームに C 級コーチ以上、全日本大学女子連盟加盟チームに B 級コーチ以上の有資格者を義務付けるという目標を持ちながら、現状把握・受講促進・指導者の拡大を図る。